

春日井ロータリークラブ 2016～2017年度 WEEKLY REPORT



クラブテーマ

～地域で期待されるロータリアンになろう～

会 長 : 伊藤 純 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
 副 会 長 : 社本 太郎 例会場 : ホテルプラザ勝川
 副 会 長 : 宅間 秀順 事務局 : 春日井市鳥居松町5-45
 幹 事 : 成瀬 浩康 TEL : (0568) 81-8498
 会報委員長 : 加藤 宗生 FAX : (0568) 82-0265
 E-mail : Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

自然の恵みを
未来の子供達へ

ロータリーの森

本日のプログラム

	司会	朽本 正樹君
・点 鐘		伊藤 純君
・ROTARY SONG		「日も風も星も」
・今月の歌		「いい日旅立ち」
・ビジター紹介		伊藤 純君
・食事・歓談		
・委員会報告		
・会長挨拶		伊藤 純君
・卓 話		杉浦 隆伸氏
・幹事報告		成瀬 浩康君
・点 鐘		伊藤 純君

今月の歌

いい日旅立ち
 帰らぬ人たち 熱い胸をよぎる
 せめて今日から ひとりきり旅に出る
 ああ 日本のどこかに
 わたしを 待ってる人がいる
 いい日旅立ち 夕焼けをさがしに
 母の背中で聞いた 歌を道連れに

先週の記録

会長挨拶 会長 伊藤 純君
 この後、ガバナー補佐の卓話もありますので、会長挨拶を少しにさせていただきます。
 先日、サークルKサンクスとファミリーマートが合併致しました。
 コンビニ3強と言われる、「セブンイレブン」「ローソン」「ファミリーマート」と3社合わせると5万店を越える規模であります。
 当初セブンイレブンは7時～11時までの営業を売りとしていたので、店名としたそうです。イオングループでも10年以上前は年に10日間の休館日

ロータリーの友月間

例会 予 定	9月16日(金) 祝福 卓話 河村哲也君	9月23日(金) 休会定款6-1	9月30日(金) 卓話 米山奨学副委員長 小栗 正章君	10月7日(金) 理事役委員会11:30 祝福 卓話 大橋 省吾君
--------------	----------------------------	---------------------	--------------------------------------	--

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

2016年9月9日(金)2292回(9月第2例会)

がありました。しかし最近の流れでは365日営業、朝から夜の12時位まで営業をしています。例えばコンビニも郊外の夜中に需要の少ない店舗は、夜間閉店をしたり、イオンや大きなスーパーも各店の自主制に任せる様な流れになれば、全国で余剰人員がかなり出来るでしょう。その人員で介護や他の人手を欲している産業に当てればと考えています。

コンビニやスーパーで働いている当事者もそう言った意見を発信しなければいけません。世論の風潮がそのようになれば良いと思いますので、皆様も声をあげて頂ければ有難いです。

幹事報告

幹事 成瀬 浩康君

次週予告

- *理事役員会 11時30分
- *卓話 豊田市コンサートホール
副館長 杉浦隆伸氏
タイトル「能・狂言と現代社会」

◎例会変更のお知らせ

岩 倉 RC	9月20日(火) 9月21日(水) 12:30 ガバナー公式訪問の為 コミュニティホール
豊 田 東 RC	9月21日(水) 9月24日(土) とよた産業フェスタの為 豊田スタジアム
名 古 屋 名 東 RC	9月20日(火) 9月21日(水) 音楽会の為日本特殊陶業市民会館

◎例会休会のお知らせ

○名古屋守山RC 9月21日(水)は休会

◎ビジター紹介 会長 伊藤 純君

○江南RC 古田 嘉且君
〃 波多野智章君
〃 尾関 育良君
○岡崎RC 岩月 一郎君
〃 谷 泰男君

出席報告 委員長 大橋 省吾君

会員 61名	欠席 22名	出席率 63.9%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.7%

ニコボックス報告 委員長 速水 敬志君

○ガバナー補佐訪問で参りました。本日はよろしくお願ひ致します。

ガバナー補佐 古田 嘉且君
地区副幹事 岩月 一郎君
区分幹事 波多野智章君
区分副幹事 尾関 育良君
地区スタッフ 谷 泰男君

○会長同期の古田ガバナー補佐をお迎えして
社本 太郎君

○9月スタート下半期も元気で過ごせますように
青山 博徳君

○古田ガバナー補佐をお迎えする喜びで

足立 治夫君 伊藤 純君 小柳出和文君
岡田 義邦君 岡嶋 良樹君 大橋 省吾君
小野寺 誠君 大原 泰昭君 加藤 茂君
河村 哲也君 加藤 宗生君 貴田 永克君
北 健司君 川瀬 治通君 近藤 秀樹君
近藤 太門君 志水ひろみ君 芝田 貴之君
下田 育雄君 朽本 正樹君 宅間 秀順君
名畑 豊君 成瀬 浩康君 長谷川英輝君
林 憲正君 速水 敬志君 蓮野 美廣君
場々大刀雄君 古屋 義夫君 屋嘉比良夫君
山田 治君 和田 了司君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話 ガバナー補佐 古田 嘉且君

今年度、東尾張分区担当ガバナー補佐を仰せつかっております。江南ロータリークラブの古田嘉且でございます。よろしくお願ひ致します。本日は、限られた時間での訪問ではありますが、地区方針及び2016年規定審議会決定事項を中心に、お話をさせて頂きたいと思ひます。

I. 地区方針

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、倫理感と高潔さを失わず、世界理解、親善、平和を推進することであります。

今年度、服部良男ガバナーは、ジョン F・ジャーム RI 会長方針の元に、IT化推進を行ない、ロー

タリーの活動の記録を残し、親睦と奉仕の感動の共有を行ない、ロータリーの魅力の発信を行なうことを推奨されております。手続要覧によりますと、ロータリアンは、地域社会におけるロータリーの発展と、奉仕活動を改善するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、広くクラブを紹介するよう求められています。

しかし、今、ロータリーは、何をしている。この問いに、誰も明確な答えは、返ってこない、広報は問題視されてきました。

公共イメージ大規模調査結果によれば、ロータリーについて、名前も聞いたことがない人が4割、名前だけ聞いたことがある人4割を含めて、8割が、ロータリーが何をしているか知らない、という結果でした。ロータリーは、意義ある活動を行なっているにもかかわらず、それが認識されておりません。これによって、ロータリーが持つ可能性を、最大限に引き出すのが難しくなっています。日本の会員数は、1996年11月末の130,982人をピークに、3割以上が減少し、2016年3月末現在、88,667人で、9万人を切るようになりました。会員増強にも、広報は、深く関わっています。

ロータリーのIT化推進とは、公共イメージの向上が難しい今、情報通信上の技術を駆使して、一般社会に、飛躍的に広報しようとするものです。

ところで、国際ロータリーでは、創立100年を契機に、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針として、ロータリー戦略計画を発表しました。2007年以来、RI理事会は、ロータリー戦略計画における3つの戦略的優先項目。すなわち、①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上 を掲げ、その目標を実現するために努めてきましたが、その中でも、ロータリー戦略計画の中心となるものが、IT化推進であります。

一方、私達の価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても、重視される要素であります。そこで、国際ロータリーでは、2007年、ロータリーの中核的価値観として、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) の5つを採択し、ロータリーブランドそのものを示す重要なものとしています。国際ロータリーは、ロータリー戦略計画を遂行中であります。それは、ロータリーの輝きを持続可能にする戦略であり、中核的価値を再認識して、奉仕活動で仲間のロータリアンや、ロータリアンではない地域の人々に対して、その価値を認識してもらおうという、ブランドマーケティングだと言えます。

2016-2017年度、国際協議会にて、ジョンF・ジャーム RI 会長の方針は、服部ガバナーに伝えられました。服部ガバナーは、地区のビジョンとして、「10年後、20年後も地区の輝きが、持続可能であること」を掲げられました。

国際ロータリー第2760地区は、日本にある34地区の中でも、最も活性化し、輝いている地区の一つであるが、この地区の輝きが、10年後、20年後も持続可能であり続けるには、今、国際ロータリーが取り組んでいる戦略計画を、当地区でも実行することが必要不可欠であると、服部ガバナーは言ってみえます。

そのために、今年度、当地区に、「戦略計画委員会」が新設されました。「研修委員会」は、実行組織としての役割と、委員を変更し、地区の各委員会と戦略計画との調整を行ないます。また、My Rotaryの登録と利用の促進、Club Centralの活用、ソーシャルメディアの普及のために、「公共イメージ向上委員会」を新設し、広報部門を統合しました。一方、今年度の最重点戦術として、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を挙げてみえます。

具体的には、第1に、My Rotaryの登録と活用。50%の達成を目標とします。My Rotaryとは、2013年8月に、一新されたRIのホームページ会員専用サイトのことです。第2は、Rotary Club Centralの活用。100%達成を目標とします。Rotary Club Centralとは、クラブの年度目標を立て、進捗状況を確認し、目標を達成するためのものであります。第3は、ソーシャルメディアによる広報です。まずは、各クラブのフェイスブック開設を目標としています。

さらに、My Rotaryに登録・利用し、そして、Rotary Club Centralを利用し、Facebook、Twitterなどの、ソーシャルメディアを活用できるロータリアンを、My Rotarian（マイロータリアン）と呼び、地区委員会や各クラブで選任してもらい、公共イメージ向上委員会が支援しながら、マイロータリアンの数と質を向上させることが重要となります。ところで、今年度は、ロータリー財団設立100周年を迎え、各所で、これを祝う記念イベントが開催されます。当2760地区もこれに合わせて、「第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が10月22日～23日の2日間、昨年と同じ会場、栄地区（久屋大通公園・希望の広場）にて開催されます。このプロジェクトは、各クラブ、地区をあげてのイベントであり、ロータリアン全員の参加型イベントとして位置付けされていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

II. 2016年規定審議会決定事項

2016年4月、シカゴで規定審議会が開かれました。そこで、ロータリーの方針の見直しを行ない、ク

ラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。何故、変更が必要なのでしょう？インド、韓国、ドイツ、台湾など、一部の国や地域で、ロータリーが急速に成長している一方で、米国、日本、英国、オーストラリア、カナダなど、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化と言った問題に、直面している国や地域もあります。

これまで15年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについて、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

そこで、今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れて、クラブ細則を修正することが可能となりました。具体的には、

- 例会の曜日と時間を、自由に決定する
- 必要に応じて、例会を変更または中止する
- 奉仕プロジェクトまたは、社交行事を「例会」とみなす
- 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行なう例会、あるいは、両方の方法を同時に用いる例会のいずれかを選ぶ
- クラブ例会を少なくとも月2回開催することなどです。ただし、ここで注意して頂きたいことは、これらの規定審議会の決定は強制ではないので、標準ロータリー定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。例会や出席、クラブの構造、会員種類について、変更を採用することをクラブが選択する場合は、クラブ細則を修正する必要があります。

一方で、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることが出来るということです。

また、その他の決定事項としては、1. Eクラブと従来型クラブを区別する必要性がなくなったこと

2. 会員種類について、クラブが地元のニーズに応じて準会員、法人会員、家族会員など、新しい会員種類を追加できるようになったこと

3. ロータリークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクターが、ローターアクト会員であり続けると同時に、ロータリークラブに入会できるという二重会員身分

4. RI細則とクラブ定款から「入会金」が削除され、新会員は入会金を支払わなくても入会できるようになったが、これは各クラブの裁量で今後も、クラブ細則に加えることで、入会金を徴収できる。

以上、いずれの変更も、2016年7月1日に有効となります。

しかしながら、規定審議会で変更があったからと言って、今、慌てて理事会等で、決議する必要はないと考えています。12月のクラブ総会までに、各クラブにおいて、クラブ定款・細則に、十分議論を重ねて決定して頂ければと思っています。

III. ロータリー雑感

今、ロータリーが大きく変わろうとしています。ロータリーが創立された当時は、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代でした。もしも、この街の中で、心から何でも相談できる、また語り合える友人が居たらどんなにすばらしいことだろう。そういう発想から、ロータリーは生まれました。

親睦と相互扶助から始まったロータリーは、アーサー・フレデリック・シエルドンの影響を受けて、職業奉仕に基づいた販売学の導入を受け入れて、大きく発展しましたが、やがて、社会奉仕活動に大きく転換し、今や世界最大のNPO組織として、大規模なボランティア活動に専念するとともに、会員同士による積極的な相互扶助活動に、回帰しようとしています。

ロータリーは、何処に進もうとしているのでしょうか。

RI 第 2680 地区 田中毅パストガバナーによれば、1970年代後半から、ロータリーは、大きな危機の時代に突入し、その原因として、第1に、経済システムが大きく変化し、虚業的投資会社が現われて、経済の実態を変えると共に、職業倫理の低下をもたらしたこと。第2に、奉仕哲学の変化と間違った解釈。第3に、国際ロータリーの組織が巨大化、中央集権し、活動方針が変化したこと。第4に、クラブの管理運営が変化し、親睦が欠如し、クラブ例会が形骸化したことなどを挙げられています。

従って、これらの諸問題を解決することによって、ロータリーは、奉仕クラブとして、発展することができると言われていました。

ところで、ロータリーは、ロータリー運動の概念を現す言葉であって、その原点となるのは、ロータリアン個人です。そのロータリアンの集合体が、ロータリークラブであり、ロータリークラブの連合体が、国際ロータリーです。国際ロータリーは、ロータリークラブの連合体であって、個々のロータリアンを規制する権限は、持っていません。

国際ロータリーのテーマ、動向、要請を十分に理解することは、大切なことです。忘れてはいけない事は、ロータリークラブやロータリアンは、定款や細則に違反しない限り、どのように考えるか、どのような行動をとるか、自由なのです。これがロータリーにとって重要な自治権であり、逆に、

難しいものなのです。

何事でもそうですが、原点を知り、原点を大切に。人や組織が成長するための基本だと思えます。すなわち、ロータリー運動が、飛躍的に発展した、創立当初の奉仕理念の原点を探って、その原点に回帰しようとする努力が、必要ではないのでしょうか。

例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として、奉仕の心が生まれる。そして、例会で学んだことを奉仕活動として、実践する場が、家庭、職場、地域社会、国際社会などの社会です。これが、「入りで学び、出でて奉仕せよ」です。ロータリアンの奉仕の実践の全てが、この言葉に、凝縮されています。今一度、思い起こす必要があるのではないのでしょうか。

2012-2013 年度国際ロータリー会長 田中作次氏は、ロータリーは、忍耐と寛容と謙虚さが大切と言われています。この三つの言葉をもって、ロータリー活動を実践していくならば、ロータリアンとして、素晴らしい日々を過ごせるとも言われています。

その田中作次元 RI 会長に、基調講演をお願いし、2016-2017 年度東尾張分区 IM を 2016 年 11 月 20 日(日)、名鉄犬山ホテルにて、開催させて頂きます。当日は、田中作次元 RI 会長との質疑応答の時間を、十分、取ってありますので、皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。ロータリーに入会した時、ロータリーの本質は「出会い」であると、よく言われました。「善き仲間との出会いが、ロータリーの目指すところである」と言う方も少なくありません。

奉仕とは、他者への働きかけであるように見えて、実は、自分との戦いであり、結果として、心の豊かさが与えられるもの、ではないのでしょうか。皆様との「善き出会い」に、心から感謝申し上げます。本日は、お忙しい中、ご清聴頂きまして、本当に有り難うございました。

第2回クラブ協議会（ガバナー補佐訪問）議事録

日時：2016年9月2日(金) 13:30~14:45

場所：ホテルプラザ勝川 2F さくら

出席者：古田 嘉且 ガバナー補佐
波多野智章 分区幹事
尾関 育良 分区副幹事
岩月 一郎 地区副幹事
谷 泰男 地区スタッフ

司会：成瀬 浩康 幹事

【会長挨拶 伊藤 純会長】

1時間の会議ですのでよろしくお願いします。

【古田 嘉且ガバナー補佐挨拶】

このクラブ協議会は、皆様からの意見を伺ってクラブ問題点や地区へのご要望をお聞きする場があります。私どものスタンスとしてはクラブ側にたった位置でいたいと思っていますので忌憚のないご意見をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

【春日井 RC 事業報告】

○クラブ奉仕委員会 名畑 豊君

クラブの動きを管理する委員会であると認識しています。今年度の活動に対して意見や助言をして行きたい。

○親睦活動委員会 岡嶋 良樹君

40代の若い会員で構成させていただきました。若い会員が増えましたので、皆が出席しやすい事業を行って行きたい。家族を巻き込んで記憶に残る親睦事業を計画します。

○出席委員会 大橋 省吾君

ホーム例会の出席率を上げる・メーキャップの方法を分かりやすくし100%出席を目指します。例会出席率をデータ管理できるようにする。

○ニコボックス委員会 速水 敬志君

笑顔で気持ちよくご協力いただけるよう、早い時間からの受付を心がけます。また、ウィークリーに掲載漏れのないよう努めてまいります。

○プログラム委員会 川瀬 治通君

卓話では、ロータリーを学ぶ機会をつくりたい。ロータリーの月間に因んだ内容で卓話を計画していく。

○雑誌・資料委員会 河村 哲也君

ロータリーの友をしっかりと読み、いかに大切な情報が掲載されているかを会員に伝えていきたい。春日井の事業も掲載されるよう尽力して行きたい。

○SAA委員会 屋嘉比良夫君

例会が円滑かつ厳粛に運ぶよう監督したい。各委員会の委員長と連携を図り委員からの意見も聞き、例会の委員会報告時に皆さんにご報告したいと思えます。

○会場委員会 枋本 正樹君

例会が定刻に始まり定刻で終わるよう円滑な進行に心がける。例会の司会は委員会メンバー全員ローテーションで行う。SAAからのご助言に対応しより良い例会にして行きます。

○クラブ会報・広報・IT委員会 加藤 宗生君
分かりやすく読みやすい会報を発行する。HPには毎週火曜日に新しい会報を更新していきます。

○会員増強委員会 太田 弘道君 (大橋省吾君)
ここ数年JCOB含め若い会員が入会しております。今年度は女性メンバーを一人でも多く入会させたい。

職業分類・会員選考と連携をとって活動して行きたい。会員増強マニュアルを活用して行く。

○職業分類委員会 長谷川英輝君

1業種1名の制度が廃止された経緯を説明する。会員増強と会員選考と連携し増強人数の目標が達成できるよう努めて行きます。

○会員選考委員会 山田 治君

ロータリー会員として相応しいか相応しくないかを判断することは難しいが、会員増強と連携して一年かけて少しでも明確にできるようにして行きます。

○ロータリー情報委員会 加藤久仁明君

入会3年度未満の会員にロータリアンとして必要な知識を授ける。ロータリーの情報を発信して会員増強の目標達成に役立てるよう努めます。

○職業奉仕委員会 古屋 義夫君

会員の会社から学び、高潔で道徳性の高い会員の会社で例会ができるよう考えています。皆さんと共に職業奉仕について勉強し、資質の向上を図ってまいります。

○社会奉仕委員会 伊藤 一裕君

地域に期待されるロータリアンになろう、を合言葉に春日井市内の各々の奉仕団体と連携して行きたい。

○環境保全委員会 中川 健君

ロータリーの森の整備をします。例会開催時や地域の子供たちに緑や森の大切さを伝えていきます。

○青少年奉仕委員会 柴田 貴之君

インターアクトクラブとガールスカウトと連携を深めて行きます。来年のインターアクトクラブ年次大会が春日井で開催されるため3クラブで連携し準備を進めて行きます。

○国際奉仕委員会 和田 了司君

姉妹クラブ・友好クラブとの交流を図る。あしながおじさん事業の継続。

○米山記念奨学委員会 清水 勲君

本年度の受け入れはありません、米山記念奨学についてより知っていただけるよう、10月に地区より卓話をしていただけるよう予定しています。

○ロータリー財団 風岡 保広君

180ドル以上を目標に活動して行きます。

○監査委員会 大橋 完一君

一般会計・特別会計が的確・適正に執行されているか監査して行きます。

【古田 嘉且ガバナー補佐・質問感想】

○クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕委員会はロータリーの1丁目1番地と言われるように重要な委員会です。クラブ奉仕委員会がしっかりしていると親睦活動はじめクラブ全体が生き活きと運営されていることとなります。

○親睦活動委員会

同好会が多いクラブがあるが、親睦と親睦活動は違うと思う。親睦には、感性的な親睦と精神的な親睦がある。ロータリーが行う親睦は精神的な親

睦であると思います。奉仕をする人を育てることがロータリークラブである。そのために会員同士が交流しお互いを高め合うことが精神的な親睦であります。そんな場を作ることが親睦活動委員会の役割だと思います。

○出席委員会

メーキャップの方法をきちんとお知らせすることが大切である。分区では犬山RCが100%例会を続けております。会員出席はもちろん、メーキャップに対するフォローも続けていただきたい。

○ニコボックス委員会

ニコボックスの発表を大きな声で行う、皆で分かち合うことが大切であると思います。

○プログラム委員会

内部卓話・外部卓話があるが、私個人的には、会員が行うことが良いと思います、入会間もない会員や職業分類による卓話が良いと思うが、一年の中で外部の方の卓話とバランスを取っていただければ良いと思います。

○雑誌・資料委員会

他のクラブでは例会時にロータリーの友の記事を紹介しているところもある。

○SAA委員会

SAAと会場委員会が一緒になっているクラブもある。SAAはベテランの会員が就く。春日井RCは理想的な組織であると思う。

○会場委員会

秩序を守りメリハリのある例会運営が大切、司会者によって例会が良くも悪くもなるので、委員全員で経験することは良いことであると思います。

○クラブ会報・広報・IT委員会

本日朝春日井RCのHPを拝見しました、クラブによっては、HPがなかなか更新されていないが、春日井RCのHPは更新がされている。

マイロータリーへの登録をお願いします。

入会3年度未満は100%クラブ全体では50%の登録を目標としています。

○会員増強委員会

会員増強マニュアルがあることは素晴らしいです。ロータリー情報を理解し伝えて増強できることは新たな会員の意識も高められると思います。

人数を増やすことは大切であるが、会員のレベルアップも大切です。

○職業分類委員会

1業種1人の制度はなくなりましたが、職業分類は残っています、クラブによっては、1業種1人を守っているところもあります。ロータリーの精神は忘れないでほしい。

○会員選考委員会 山田 治君

入会前の個人の見極めも大切だが、入会前・入会後のロータリアンとしての説明も重要であると思います。

○ロータリー情報委員会 加藤久仁明君

ロータリアンとしての教育が大切であると思います。

○職業奉仕委員会 古屋 義夫君

4つのテストの唱和や歌を唄うことは良いことだと思う。

○社会奉仕委員会 伊藤 一裕君

地域に合った奉仕活動を進めることが地区の方針です。

○環境保全委員会 中川 健君

ロータリーの森は春日井RCの特色として大切に残して欲しいと思います。ニュートンの木があることも貴重である。

○青少年奉仕委員会 柴田 貴之君

高校生にロータリーの素晴らしさを知ってもらうことは大切である。

○国際奉仕委員会 和田 了司君

あしなが事業は春日井RCのみの素晴らしい事業です。また友好・姉妹クラブの数も他クラブに比べて多いので、どちらの活動も継続していただきたい。

○米山記念奨学委員会 清水 勲君

米山記念奨学の学生が母国に帰ってから学生の地元のクラブと友好関係になった例をお聞きしました。寄付の税法上の説明もして広めていただきたい。

○ロータリー財団 風岡 保広君

今年は180ドルを目標としております。

春日井RCのロータリー財団への寄付は多いほうなので、地区の補助金申請を行って地域の役に立てて欲しい。

○監査委員会 大橋 完一君

年会費の範囲での活動をバランスよくできていると思います。今後の継続を期待しています。

【古田 嘉且ガバナー補佐総括】

奉仕の宝石箱があり引き出しがみついている、職業奉仕・親睦活動・社会奉仕・・・一年かけてその引き出しに奉仕活動を入れていき、一年後いっぱいになった宝石箱が光り輝くと思っています。ロータリーとしての信念は変わりませんが、地域の奉仕活動は時代と共に移り変わって行きます。会員お一人おひとりの質を高めていただき2年後の50周年に向けて春日井RCの特色を活かしてください。本日は私の方が勉強させていただきました。ありがとうございました。

【岩月 一郎地区副幹事】

春日井RCはバランスのとれた良いクラブと感じました。マイロータリーへの登録を重ねてお願いします。分からない時は日本ロータリークラブの事務局に電話してください。丁寧に教えてくれます。

東京事務局 TEL (03) 5439-5800

アトランタの世界大会への参加もお願いします。
○その他
第3回クラブ協議会は10月28日（金）
13：30より行います。

卓話 ガバナー補佐 古田 嘉且君

ガバナー補佐を囲んでの懇談会



クラブ協議会風景



会長挨拶 会長 伊藤 純君

